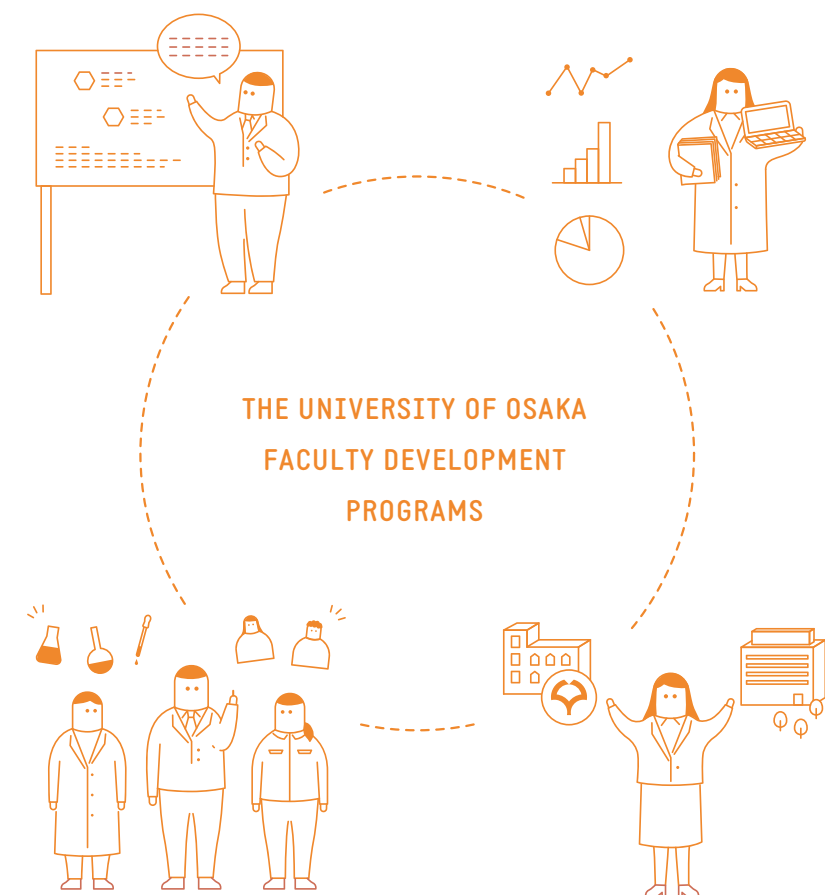


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

教育・学生支援部教育企画課総務係

スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教学支援部

全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

2026 年度

10 月～3 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。その中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力

開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

社学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた道塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2026年後期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

＜各プログラムの受講必須時間＞

- ▶ **教育能力 開発プログラム** 10時間以上
- ▶ **研究能力 開発プログラム** 4 時間以上
- ▶ **社学連携能力 開発プログラム** あわせて6 時間以上
- ▶ **マネジメント能力 開発プログラム** あわせて6 時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE（授業支援システム）」の「コミュニティページ」にて確認することができます。受講時間のCLEへの反映は、受講されてから約2ヶ月後となりますことをご了承ください。
※オンデマンド形式を複数回受講した場合、2回目以降の受講時間は換算対象外となります。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。
詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

修了証書

殿
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します
年 月 日
大阪大学理事

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限120時間）。
詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

🔗 研修プログラム一覧〈令和8年度下期(2026.10～2027.3)通年開催分〉

※募集対象が空欄の場合は全構成員が対象です。

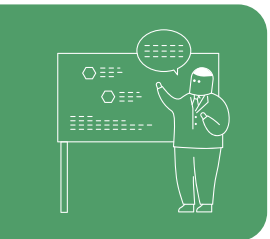
カテゴリ	研修題目	日時	時間数	対面	オンライン	オンデマンド	開催部局	募集対象	掲載ページ
教育	研究室不登校の学生へのアプローチについて	10月6日 13:30～15:00	1.5	吹田			工学研究科		P.6
教育	外国人留学生のキャリア支援	10月7日 13:30～15:00	1.5	豊中			国際機構 国際教育交流センター、キャリアセンター		P.6
教育	学生のメンタルヘルス不調	10月19日 13:30～15:00	1.5	豊中			ウェルネス推進機構 健康支援相談センター		P.6
教育	人文学における生成AIの教育利用	11月5日 13:00～14:00	1	豊中			人文学研究科	限定	P.6
教育	AIを活用したL2ライティング指導法	11月12日 15:00～16:30	1.5		○		マルチリンガル教育センター		P.7
教育	シラバスの書き方【実践編】	11月19日 13:30～15:00 11月26日 15:10～16:40	1.5		○		全学教育推進機構 教育学習支援部		P.7
教育	学生のころへの関わり方	11月24日 13:30～15:00	1.5	吹田			工学研究科		P.7
教育	高等司法研究科 外部講師によるモデル授業	11月26日 15:10～18:20 12月25日 15:10～18:20	3	豊中			高等司法研究科	高等司法研究科・法学研究科・関西大学法科大学院・香川大学法学部構成員	P.7
教育	授業デザインの方法	2月15日 13:30～15:00	1.5		○		全学教育推進機構 教育学習支援部		P.8
教育	アクティブ・ラーニング【実践編】	2月16日 13:30～14:30	1		○		全学教育推進機構 教育学習支援部		P.8
教育	はじめての生成AI【体験編】	2月26日 15:10～16:40	1.5	豊中			全学教育推進機構 教育学習支援部		P.8
教育	授業における生成AIの活用法【発展編】	2月26日 16:50～18:20	1.5	豊中			全学教育推進機構 教育学習支援部		P.9
教育	学部留学生プログラム日本語文法・漢字科目担当教員向けFD研修会	3月頃	2	箕面			日本語日本文化教育センター	日本語日本文化教育センター常勤教員及び学部留学生プログラム日本語科目担当教員	P.9
教育	iPad Café（授業でのICT活用を考えるセミナー）	毎月第2木曜日 15:00～16:30	1.5	豊中			D3センター 言語教育支援研究部門		P.9
教育	FD研修会	未定	1	吹田			蛋白質研究所	限定	P.10
教育	学際的大学院教育のグッド・プラクティス	～3月31日	1.17			○	学際大学院機構 横断型教育統括部門		P.10
教育	CLE講習会【入門編】	～3月31日	2			○	D3センター		P.10
教育	CLE講習会【応用編】	～3月31日	2			○	D3センター		P.11
教育	アクティブ・ラーニング【基礎編】	～3月31日	1			○	全学教育推進機構 教育学習支援部		P.11
教育	シラバスの書き方【基礎編】	～3月31日	1			○	全学教育推進機構 教育学習支援部		P.11
教育	オンラインビデオ教材作成法（Echo編）	～3月31日	1.5			○	SLICSセンター、D3センター、全学教育推進機構 教育学習支援部		P.12
教育	授業における生成AIの活用法【基礎編】	～3月31日	1			○	全学教育推進機構 教育学習支援部		P.12
教育	学習評価	～3月31日	3			○	全学教育推進機構 教育学習支援部		P.12
教育	外国人留学生のキャリア支援（英語研修） Career Support for International Students（English）	10月7日～3月31日	1			○	国際機構 国際教育交流センター、キャリアセンター		P.13
教育	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム（FDフォーラム）	～3月を予定	2.5			○	ファカルティ・ディベロップメント委員会		P.13

研究	人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ（Seminar Series (Human Sciences): Emerging Scholars in Behavioral Sciences）	10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月4日、3月11日 15:30～16:40	各回 1.17	吹田			人間科学研究科		P.14
研究	STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica講習会	10月30日 13:00～15:00	2	豊中	○		D3センター		P.14
研究	著作権入門セミナー ～他人事では済まされない著作権の話～	11月7日(土)13:00～16:15	3		○		知的基盤総合センター		P.14
研究	STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple講習会	11月10日 13:00～15:00	2		○		D3センター		P.15
研究	研究教育フォーラム	11月26日 15:30～17:50（休憩時間等20分含む）	2	豊中			文学部	限定	P.15
研究	ISTワークショップ	12月21日 15:30～17:30	2	吹田			情報科学研究科	限定	P.15
研究	研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作基礎	2日間（2～3月期）開催	15	豊中			コアファシリティ機構		P.15
研究	研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作アドバンス	2日間（2～3月期）開催	15	豊中			コアファシリティ機構		P.16
研究	研究・教育のための工作技術講習会－機械工作	4日間（2～3月期）開催	30	豊中			コアファシリティ機構		P.16
研究	IST ランチセミナー（IST Lunch Seminar）	週1回程度（12:00～13:00）	1	吹田			情報科学研究科	限定	P.16
研究	機械工作ステューデントショップ利用のための安全講習会	週1回程度開催	1	豊中			コアファシリティ機構		P.17
研究	生命機能研究科コロキウム（FBS Colloquium）	毎週火曜日 12:15～13:00	0.75	吹田	○		生命機能研究科	FBSの研究室（兼任教員を含む）の構成員であれば、他部局所属者も可	P.17
研究	微研集談会（Biken Monthly Seminar）	12月、1月を除く毎月第4火曜日（16:00～17:00）	1	吹田			微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター	限定	P.17

カテゴリ	研修題目	日時	時間数	対面	オンライン	オンデマンド	開催部局	募集対象	掲載ページ
研究	アドバンストセミナー（Advanced Seminar Series）	3月を除く毎月1回（16:00～17:00）	1	吹田	○		微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター		P.18
研究	研究・教育のための3D-CAD入門講習会	毎月1回程度開催	3	豊中			コアファシリティ機構		P.18
研究	IST ネットワーキングイベント（IST Networking Event）	年5回程度の開催を予定	1.5	吹田			情報科学研究科	限定	P.18
研究	蛋白研コロキウム	未定	1	吹田	○		蛋白質研究所	限定	P.19
研究	不正防止について （Prevention of research misconduct and misuse of research funds）	～3月20日	0.33			○	微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター	限定	P.19
研究	新任教員向けの「科学技術のELSI（倫理的・法的・社会的課題）」解説	～3月31日	0.5			○	COデザインセンター、社会技術共創研究センター		P.19
研究	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援	～3月31日	1			○	附属図書館、経営企画オフィス URA部門		P.20
研究	倫理審査はなぜ必要？ 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	～3月31日	0.58			○	研究オフィス		P.20
研究	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎 （Learn the basics of research data management in the era of open science.）	～3月31日	1.5			○	オープンサイエンス推進室		P.20
研究	科研費審査の仕組み： あなたの申請書や審査はどのように評価されている	～3月31日	1			○	人間科学研究科	限定	P.21
研究	論文だけではなく： 研究成果を価値に変える知財戦略	～3月31日（予定）	0.67			○	医学系研究科 保健学専攻		P.21

社会学連携	新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	11月10日 10:00～11:00	1	適塾			適塾記念センター		P.22
社会学連携	大阪大学の歴史（History of The University of Osaka）	11月17日 15:10～16:40	1.5		○		アーカイブズ		P.22
社会学連携	阪大ブランド発信地としての大学博物館	12月8日 10:30～12:00	1.5	豊中			総合学術博物館		P.22
社会学連携	アートを通した社会との共創 －中之島芸術センターにおける「共創芸術」の取り組み	12月8日 15:00～16:30	1.5	中之島			中之島芸術センター		P.23
社会学連携	映画「洪庵と1,000人の若ものたち」鑑賞と解説	～3月31日	1.5			○	適塾記念センター		P.23

マネジメント	ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム	10月15日、11月19日、12月10日 12:20～13:20	1	吹田			人間科学研究科		P.24
マネジメント	ストレスを解消し、腰痛・肩こりを予防し、仕事力向上をさせるための中医学的体操プログラム	10月21日、11月18日、12月9日 17:40～18:40	1	吹田			人間科学研究科		P.24
マネジメント	アンコンシャス・バイアスに関する研修	オンライン：10月26日 13:30～15:00 オンデマンド：準備ができ次第～3月15日	1.5		○	○	ダイバーシティ＆インクルージョンセンター		P.24
マネジメント	傾聴について	11月6日 13:30～15:00	1.5	豊中			ウェルネス推進機構 健康支援相談センター		P.25
マネジメント	Well-being 研修	11月17日（時間未定）	1.5	吹田			ダイバーシティ＆インクルージョンセンター		P.25
マネジメント	人文学研究科ハラスメント防止研修会	11月26日 15:10～16:10	1	豊中			人文学研究科（豊中地区）	限定	P.25
マネジメント	人権問題に関する講演会 「水平社の姉妹たち－部落フェミニズムの歴史をたどる」	12月15日 13:30～15:00	1.5		○		人権問題委員会	全教職員、学生、一般	P.25
マネジメント	文学部ハラスメント防止研修会	1月21日 16:15～17:15	1	豊中			文学部	限定	P.26
マネジメント	ストレスの弊害と対処法（中医学的視点から）	3月3日 13:30～16:00	2.5	吹田			工学研究科		P.26
マネジメント	メンタルヘルス講習会	未定	未定		○	○	ウェルネス推進機構		P.26
マネジメント	キャンパスハラスメントに関する研修会	未定（今年度中の教授会開催日に1時間程度を予定）	1	箕面			人文学研究科・外国語学部	限定	P.26
マネジメント	バイオセーフティ講習会	～3月31日	2			○	産業科学研究所	限定	P.27
マネジメント	若手教員・研究者のキャリア・デザインに関する講演会	～3月31日	1			○	産業科学研究所	限定	P.27
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編）	～3月31日	1.5			○	安全衛生管理部		P.27
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編）	～3月31日	1.5			○	安全衛生管理部		P.28
マネジメント	実験系廃液・排水の取扱い	～3月31日	1			○	安全衛生管理部		P.28
マネジメント	大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習	～3月31日	1			○	安全衛生管理部		P.28
マネジメント	大阪大学薬品管理支援システム（OCCSⅣ）の利用について	～3月31日	1			○	安全衛生管理部		P.28
マネジメント	電気コンセントと電気配線の安全講習	～3月31日	1			○	安全衛生管理部		P.29
マネジメント	令和8年度大阪大学新入教職員安全衛生講習会	～3月31日	1.5			○	安全衛生管理部	主に新規採用された教職員等	P.29
マネジメント	研究インテグリティを確保するために 研究者に求められること	～3月31日	0.5			○	国際連携研究リスク統括室		P.29
マネジメント	安全保障輸出管理の概要	～3月31日	1			○	国際連携研究リスク統括室		P.29
マネジメント	大阪大学新任教職員研修（大学理解研修）	～3月31日	1			○	総務部 人事課 人材育成係	令和8年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び事務職員 課長以上の事務系職員	P.30
マネジメント	蛋白研防災安全講習会	11月頃の1か月間（日程未定）	1			○	蛋白質研究所	限定	P.30



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

©受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

研究室不登校の学生へのアプローチについて

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 10月6日13:30-15:00

〈キーワード〉研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれます。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加します。この観点から基本的な対応法を紹介します。

《問合先》工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室
✉ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》ICHO 掲示板でご案内します。》

 30名  1.5時間  日本語  対面

外国人留学生のキャリア支援

講師：安部 陽子(国際機構国際教育交流センター 特任講師)

黄 海洪(国際機構国際教育交流センター 特任学術政策研究員)

豊中 10月7日13:30-15:00

〈キーワード〉外国人留学生、キャリア支援、就職活動

〈概要〉外国人留学生に対してキャリア支援を行うにあたって、直面する種々の問題とそれに対する対応について学びます。
〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先》国際機構国際教育交流センター ✉ career.ciee@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》申込は、下記リンクよりお願いします。研修は前日の 17:00 までにお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/YdpUmcRiyH> 《

 30名  1.5時間  日本語  対面

学生のメンタルヘルス不調

講師：足立 浩祥(相談支援部門 教授)

豊中 10月19日13:30-15:00

〈キーワード〉心理的問題、ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉上記テーマ（学生にみられるストレス反応やメンタルヘルス不調、発達障がいの特徴と対応）についてミニ講義とディスカッションでテーマについての理解を深めます。
〈目的〉本研修は、学生がキャンパスライフで陥りやすいメンタルヘルス不調とその背景、対応について、基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先》健康支援相談センター 庶務係 ✉ hacc-syomu@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》1ヶ月程度前にICHO 掲示板に掲載されるICHO フォームにて事前申込をお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

 20名  1.5時間  日本語  対面

限定 人文学研究科

人文学における生成 AI の教育利用

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

村上 正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 11月5日13:00-14:00

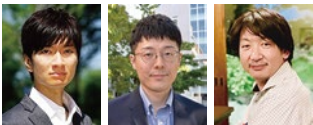
〈キーワード〉AI、教育、人文学

〈概要〉本研修では、大阪大学の教育活動におけるAI利用の現状と展望を概観し、学生のAI活用に対する教員の効果的なコミットメントのあり方について考えます。特に、AIを利用したレポートへの対応方針や、成績評価等の実務的な問題について解説します。

《問合先》人文学研究科 評価・広報室 ✉ k.yoshida.hmt@osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》開催1か月前に対象専攻に対しメールにて開催案内を送付いたします。
※原則として、人文学研究科人文学専攻、日本学専攻(基盤コース)、芸術学専攻の教員は全員出席です。
他部局教職員の参加は、事前に相談ください。》

 100名  1時間  日本語  対面



 定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式

限定 大阪大学全構成員、学外の大学教員、高校・中学の教員、大学院生、大学生等

AI を活用した L2 ライティング指導法

講師：水本 篤(関西大学 外国語学部・外国語教育学研究科 教授)

オンライン 11月12日15:00-16:30

〈キーワード〉生成AI、プロセス・ライティング、フィードバック、プロンプト設計、評価リテラシー、倫理的活用

〈概要〉本研修では、生成 AI を英文作成の代行ツールではなく、構想、下書き、推敲、振り返りを支える学習パートナーとして位置づけ、プロセス・ライティングの視点から、授業設計、効果的なフィードバック、倫理的な AI 利用と評価の方法を具体例を通して考えます。

《問合先》マルチリンガル教育センター ✉ cme.fdttraining@gmail.com 《

《申込方法》以下のアンケートへの回答により、申込受付とします。<https://forms.cloud.microsoft/r/30gp32THvx> 《

 100名  1.5時間  日本語  オンライン

シラバスの書き方【実践編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 11月19日13:30-15:00、11月26日15:10-16:40

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。講義形式の解説に加え、個人ワークを通じて、授業の目的や目標、内容設定、評価方法の作成スキルを身につけることを目指します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の 15 時までにお申し込みください。》

  制限なし  1.5時間  日本語  オンライン

学生のこころへの関わり方

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 11月24日13:30-15:00

〈キーワード〉共感、レジリエンス、学生指導上の留意点、学生のメンタルヘルス

〈概要〉人間の行動原理、学生的心情、その関わり方について紹介します。

《問合先》工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室
✉ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》ICHO 掲示板でご案内します。》

 30名  1.5時間  日本語  対面

限定 高等司法研究科・法学研究科・関西大学法科大学院・香川大学法学部構成員

高等司法研究科 外部講師によるモデル授業

講師：毎回 1 名の外部講師

豊中 11月26日15:10-18:20、12月25日15:10-18:20

〈キーワード〉説明、指示、パワポ、板書、配布資料、教室マネジメント

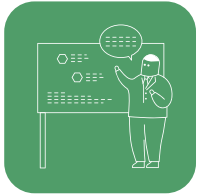
〈概要〉他法科大学院の教員の授業を見学し、授業の進め方、教授方法、配布資料等について意見交換を行います。

《問合先》高等司法研究科 教務係 ✉ houkou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》メールまたはフォームよりお申し込みください。》

 各回10名程度  3時間  日本語  対面

最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

授業デザインの方法

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 2月15日13:30-15:00

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉大学教育を取り巻く環境が変わる中で、大学教員には、アクティブ・ラーニングやICTツールなどを適切に活用するための多様な教育能力が求められています。しかし、これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、教育学におけるインストラクショナル・デザインの理論に基づいた授業デザインの基本的な考え方や方法論について、ワークも交えながら実践的に学ぶことを目指します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の 15 時までにお申し込みください。》



 制限なし  1.5時間  日本語  オンライン

アクティブ・ラーニング【実践編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)

金 賢真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

オンライン 2月16日13:30-14:30

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、「アクティブ・ラーニング【基礎編】」を受講した方を対象に、ご自身でアクティブ・ラーニングの授業実践を設計していただき、その内容をグループワークでブラッシュアップしていくことを通して、アクティブ・ラーニングの授業設計能力を習得することを目的としています。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の 15 時までにお申し込みください。》



 制限なし  1時間  日本語  オンライン

はじめての生成 AI【体験編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

豊中 2月26日15:10-16:40

〈キーワード〉生成AI入門、生成AIリテラシー、体験、教育DX、授業改善

〈概要〉本セミナーは、生成AIの初心者や、授業・業務における活用を検討している教員を対象とします。FDセミナーオンデマンド研修「授業における生成AIの活用法【基礎編】」での学びを踏まえ、生成AIの操作と活用法を実践的に学びます。問題作成や課題評価など授業における具体的な活用事例や、NotebookLMなど授業で活用できるAIツールについて、実演・体験・議論を交えながら理解を深めます。生成AIに初めて触れる方でも安心してご参加いただける内容です。本研修を通じて授業において継続的に生成AIを活用できるようになることを目指します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の 15 時までにお申し込みください。》



 25名  1.5時間  日本語  対面

授業における生成AIの活用法【発展編】

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

金 賢真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

村上 正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 2月26日16:50-18:20

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉本研修では、生成AI時代における授業設計と学習評価のあり方を、具体例とワークを通じて実践的に学びます。授業設計や学習評価の考え方を、①AIの使用を制限する、②AIの利用を認める、③AIを積極的に活用する、という3つの観点から整理し、授業での具体的な実践方法を紹介します。また、参加者同士で生成AIの活用状況を共有し、授業における適切な利用を支援する方法について議論します。これらを通じて、AIを使ってよい場面と自力で取り組むべき場面の線引きや、学生と共有すべき方針を検討します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の 15 時までにお申し込みください。》

 25名  1.5時間  日本語  対面



限定 日本語日本文化教育センター常勤教員及び学部留学生プログラム日本語科目担当教員

学部留学生プログラム日本語文法・漢字科目担当教員向けFD研修会

講師：学部留学生プログラムコーディネーター

学部留学生プログラム日本語科目コーディネーター

箕面 3月頃

〈キーワード〉学部留学生、予備教育、日本語教育、文法・漢字科目

〈概要〉日本語日本文化教育センターの常勤教員や学部留学生プログラムの日本語科目担当教員を対象に、学部留学生プログラムの日本語科目のうち、文法科目と漢字科目に特化したFD研修会を開催します。本研修会は、同プログラムの文法科目と漢字科目の教育方針や授業内容の説明、および教授方法に関する教員同士の情報交換や意見交換の機会を提供するものです。それを通じて、文法科目と漢字科目の授業デザインや授業で使用する教材、課題、試験の内容改善を促すとともに、学部留学生プログラムの学生に対する理解を深めることを目的としています。

《問合先：人文学研究科 箕面事務部 日本語日本文化教育センター係 ☐ cjlrc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催約1ヵ月前に日本語日本文化教育センター内で通知します。》

 50名  2時間  日本語  対面

iPad Café(授業での ICT 活用を考えるセミナー)

講師：大前 智美(D3 センター 准教授)

岩居 弘樹(D3 センター 招へい教授)

豊中 毎月第2木曜日15:00-16:30

〈キーワード〉ICT活用、ICT活用学習支援、協働学習

〈概要〉学生が持っているiPhone、iPad、PCやさまざまなオンラインサービスをどのように授業で活用するか、参加者の皆さんと一緒に試しながら、授業方法や授業内容を改善することを目指しています。

《問合先：D3 センター 言語教育支援研究部門 ☐ ml-lls@g.les.cmc.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：上記メールアドレス宛にお知らせください。メーリングリストに登録し、毎月開催通知と欠欠フォームをお送りします。》

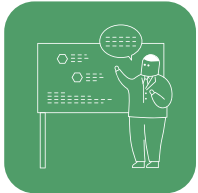
 制限なし  1.5時間  日本語  対面

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



教育能力 開発プログラム

限定 蛋白質研究所

FD研修会

講師：各回によって異なる

吹田 未定

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》

60名程度
1時間
日本語
対面

学際的大学院教育のグッド・プラクティス

講師：プログラム・モジュール担当教員(詳細は決定次第、アナウンスします)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラム、高度教養モジュール、学際

〈概要〉副専攻・高度副プログラムや高度教養モジュールの事例紹介を通して、プログラム・モジュールの実施運営のグッドプラクティスを全学的に共有するとともに、プログラム・モジュールを新規開設あるいは改善する際に役立つ知見を共有する場とします。現在プログラムを担当されていない先生方にも、授業を学際的に展開することのメリットや方法について理解する機会として活用していただけます。

《問合せ先：学際大学院機構(i-TGP)横断型教育統括部門》
✉ yanagida.kazuuya.itgp@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：下記のフォームから随時お申し込みください。
https://forms.office.com/r/kqQKmW3C8L》

制限なし
1.17時間
日本語
オンデマンド

CLE講習会【入門編】

講師：外部講師

千葉直也(D3センター 准教授)
白井 詩沙香(D3センター 准教授)
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド ~3月31日

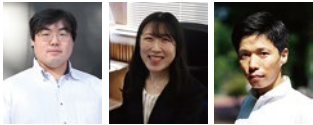
〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門》
✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。詳細は以下をご参照ください。
(https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0)
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし
2時間
日本語
オンデマンド



CLE講習会【応用編】

講師：外部講師

千葉直也(D3センター 准教授)
白井 詩沙香(D3センター 准教授)
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド ~3月31日

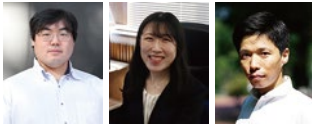
〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門》
✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。詳細は以下をご参照ください。
(https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0)
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし
2時間
日本語
オンデマンド



アクティブ・ラーニング【基礎編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景やインストラクショナル・デザインの基礎、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について学び、自身の授業での活用について考えていただくことを目的としています。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「FDプログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)をご参照ください。昨年と同内容です。
2回目の受講の場合、FDポイントの付与はいたしません。》

制限なし
1時間
日本語
オンデマンド



シラバスの書き方【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、単なる授業内容の紹介にとどまらず、学生の学びを促すための「設計図」でもあります。しかし、現状において多くのシラバスは、その本来の役割を十分に果たせていません。シラバスには特有の「書き方の作法」があり、それを知ってこそはじめて真価を発揮します。そこで本セミナーでは、シラバス本来の役割を確認したうえで、学生が学習に活用できるようなシラバスの書き方について学びます。特に、授業デザインの核となる「授業の目標」の設定について詳しく説明します。なお、令和6年度から導入された新フォーマットにも対応した内容です。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「FDプログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)をご参照ください。昨年と同内容です。
2回目の受講の場合、FDポイントの付与はいたしません。》

制限なし
1時間
日本語
オンデマンド

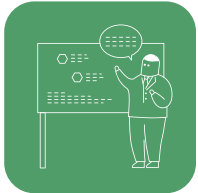


定員

受講時間

使用言語

研修形式



教育能力 開発プログラム

オンラインビデオ教材作成法（Echo 編）

講師：浦西 友樹（D3 センター 教授）
浦田 悠（全学教育推進機構 准教授）



 制限なし  1.5時間  日本語  オンデマンド

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員が無料で利用できる Echo360 社の講義収録配信システムを用いて、オンラインビデオ教材の作成・配信方法を学びます。このシステムでは、教室設置機材や自身のパソコンから収録でき、専用アプリとウェブカメラを使えば、画面とカメラ映像の同時収録も可能です。授業のオンライン化、予復習、補講、オンライン講習、配慮が必要な学生への配信など、授業等での活用方法を検討します。受講時はパソコンと大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部  tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。昨年と同内容です。2 回目の受講の場合、FD ポイントの付与はいたしません。》

授業における生成 AI の活用法【基礎編】

講師：長岡 徹郎（全学教育推進機構 助教）



 制限なし  1時間  日本語  オンデマンド

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉生成AIは、高い自律性と汎用性を備え、さまざまな用途に活用できる一方で、発展途上の技術であるため、精度や倫理面を含む課題も残されています。そのため、教育現場で活用する際には、利点とリスクの双方を理解し、適切に運用することが重要です。本FDセミナーでは、生成AIの教育利用を検討している教員を対象に、基礎知識や利用時の注意事項について解説します。なお、本セミナーは初心者向けの内容であり、最新動向や具体的な授業活用法について学びたい方には、「授業における生成AIの活用法【発展編】」の受講をおすすめします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部  tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。昨年と同内容です。2 回目の受講の場合、FD ポイントの付与はいたしません。》

学習評価

講師：浦田 悠（全学教育推進機構 准教授）



 制限なし  3時間  日本語  オンデマンド

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本研修では、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部  tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。昨年と同内容です。2 回目の受講の場合、FD ポイントの付与はいたしません。》

外国人留学生のキャリア支援（英語研修） Career Support for International Students (English)

講師：姚 馨（国際機構国際教育交流センター 准教授）

 制限なし  1時間  English  オンデマンド

オンデマンド 10月7日～3月31日

〈キーワード〉外国人留学生、キャリア支援、就職活動（International students, career support, job-hunting）

〈概要〉外国人留学生に対してキャリア支援を行うにあたって、直面する種々の問題とそれに対する対応について学びます。
〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先：国際機構国際教育交流センター  career.ciee@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込不要です。オンデマンド配信は CLE（キャリアセンター FD）に掲載します。》

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム （FD フォーラム）

 制限なし  2.5時間  日本語  オンデマンド

講師：未定

オンデマンド ～3月を予定

〈キーワード〉教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。
1.基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います
2.グループセッションを行います

《問合先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係  gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：CLE にて動画を公開します。詳しくはマイハンダイをご確認ください。
<https://my.osaka-u.ac.jp/admin/education>》



定員



受講時間



使用言語



研修形式



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ (Seminar Series (Human Sciences): Emerging Scholars in Behavioral Sciences)

講師：伊藤 篤希(人間科学研究科 助教)

吹田 10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月4日、3月11日15:30-16:40

〈キーワード〉研究交流、学際教育、若手研究者、研究発表
(Research exchange, Interdisciplinary education, Young researchers, Research presentation)

〈概要〉若手研究者が、分野の垣根を越えて「気軽に」研究発表および議論できる場を定期的に設けることで、助教・ポストドク・大学院生などが相互に交流し、自身の研究分野・研究テーマを相対的に捉えたり、他者の研究分野・研究テーマの要点をよりの確に捉えたりできるようになることを目指します。本セミナーシリーズでは特に、隣接分野同士での学際的な議論の場を設けるために、人間科学研究科の行動学系に焦点を当てて、毎回異なる登壇者を招き、研究に関するトークと議論を実施します。

《問合せ先：人間科学研究科 発達認知科学研究分野》✉ atsukiito.hus@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込不要です。現地に直接お越しください。事前に情報が必要な方は担当（伊藤）までご連絡ください。》

STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会

講師：外部講師

小林 聖人(D3 センター 助教)

豊中 **オンライン** 10月30日13:00-15:00（対面とオンラインは同日）

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Mathematica、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、D3センターが全学ライセンスを購入しているMathematicaの基本操作の修得を目的に、Mathematicaの基本構成と原理、Mathematicaの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合せ先：D3 センター 情報メディア教育研究部門》✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：詳細はキャンパスライセンス／Mathematicaのホームページで開催を告知します。
https://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/license/math/guide1.html》

著作権入門セミナー ～他人事では済まされない著作権の話～

講師：樹田 剛(知的基盤総合センター 特任教授)

向井 秀一(知的基盤総合センター 特任准教授)

オンライン 11月7日13:00-16:15 ※土曜日開催です

〈キーワード〉知的財産、著作権、私的使用のための複製、引用

〈概要〉著作権に関する基本的内容を学びます。著作権に関する知識を有していない人でも、著作権とは何か、私的複製、引用はどの範囲まで認められるか等の基本的事項に関して理解することを目的としています。

《問合せ先：知的基盤総合センター》✉ s.mukai.iprism@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：電子メールで、連絡先メールアドレス(s.mukai.iprism@osaka-u.ac.jp)まで、
①氏名、②所属、③大阪大学個人ID、を明記の上で参加希望の旨をご連絡ください。》

各日30名 1.17時間 日本語 English ※実施回による 対面



100名 程度 2時間 日本語 対面 オンライン



20名 3時間 日本語 オンライン

STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

講師：外部講師

小林 聖人(D3 センター 助教)

オンライン 11月10日13:00-15:00

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、D3 センターが全学ライセンスを購入している Maple の基本操作の修得を目的に、Maple の基本構成と原理、Maple の基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合せ先：D3 センター 情報メディア教育研究部門》✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：詳細はキャンパスライセンス／Maple のホームページで開催を告知します。
https://www.cmc.osaka-u.ac.jp/edu/license/maple/guide1.html》



100名 程度 2時間 日本語 オンライン

限定 文学部

研究教育フォーラム

講師：三木 那由他(人文学研究科 講師)

金水 敏(人文学研究科 名誉教授)

豊中 11月26日15:30-17:50（休憩時間等20分含む）

〈キーワード〉研究、教育

〈概要〉本研究科の名誉教授および本研究科等の教員によるそれぞれの専門分野に関する研究発表や社会学連携活動の講演と座談会を行い、それについて質疑応答を通じて、人文学研究の理解を深めます。本研究科教員の研究遂行能力を開発するとともに、研究成果を教育の場や社会学連携の場に効果的に活かすための方法を開発します。

《問合せ先：人文学研究科 豊中事務部 庶務係》✉ jinbun-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科教員宛てに通知する開催案内に沿ってお申し込みください。》

限定 情報科学研究科

IST ワークショップ

講師：寺田 努(神戸大学 工学研究科 教授)

吹田 12月21日15:30-17:30

〈キーワード〉研究発表、スライド作成、説明の明確化

〈概要〉国内外の学会発表においてプレゼンテーション賞を10度以上受賞している神戸大学大学院工学研究科・寺田努教授を講師に迎え、大学で求められるアカデミックプレゼンテーションの基礎と実践を学びます。研究内容を効果的に伝えるための構成・スライド作成の技術を習得し、学会発表や研究紹介、共同研究提案など多様な場面で活用できる研究発信力を高めます。さらに、外部資金獲得に向けて申請書の質を向上させるためのプレゼン能力を強化することを目的とします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。申込フォームで受付予定です。》

研究・教育のための工作技術講習会ーガラス工作基礎

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

豊中 2日間（2～3月期）開催

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、基礎編、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を、自ら製作するためのガラス工作技術に関して、その基礎技術を2日間の実習を通して集中的に習得します。初めてガラス工作に携わる方も受講頂けます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ》✉ glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：2～3 月期の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。
コアファシリティ機構の HP においても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細は HP (https://www.corefc.osaka-u.ac.jp) をご確認ください。》

最大5名 程度 15時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

研究・教育のための工作技術講習会ーガラス工作アドバンス

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)
古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

【豊中】 2日間（2～3月期）開催

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、アドバンスコース、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を、自ら製作するために必要な難度の高いガラス工作技術を、特に中～上級者向けにアレンジし、2日間の実習を通して集中的に習得します。ガラス工作未経験の方、僅かの経験だけの方は、基礎編を受講の上で本アドバンスコースを受講ください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ》 ☒ glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：年2回(2～3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してください。
コアファシリティ機構のHPにおいても開催予定について告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(https://www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

5名 15時間 日本語 対面

研究・教育のための工作技術講習会ー機械工作

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)
宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)
古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

【豊中】 4日間（2～3月期）開催

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、機械加工技術、3D-CADデザイン、4日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要となる独自の実験機器や実験器具等を、自ら設計・製作するための工作・設計技術を4日間の実習を通して集中的に習得します。旋盤・フライス盤・ボール盤・レーザー加工機など一連の機械加工装置や3D-CAD設計等の実習を行い、必要な基本工作技術のほぼ全てを学びます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 ☒ kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：2～3月期の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申込みください。
コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(https://www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

最大8名程度 30時間 日本語 対面

【限定】 情報科学研究科

IST ランチセミナー (IST Lunch Seminar)

講師：情報科学研究科 教員
Boost 学生
ゲスト講師

【吹田】 週1回程度（12:00-13:00）

〈キーワード〉研究力向上、融合研究、共同研究（Research Enhancement, Interdisciplinary research, Collaborative Research）

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ☒ ura@ist.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。》

各回20名程度 1時間 日本語 English ※実施回による 対面

機械工作スチューデントショップ利用のための安全講習会

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)
宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)
古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

【豊中】 週1回程度開催

〈キーワード〉安全講習会、研究・教育のためのセルフものづくり、開放工作室の利用

〈概要〉機械工作スチューデントショップ（開放工作室）では、研究者自身が様々な汎用工作機械やNC工作機器、3Dプリンタや3D計測器を使って研究・教育を行うために必要な“ものづくり”を行うことができます。本講習は機械工作スチューデントショップを利用するために受講が必要な安全講習会です。受講後に同スチューデントショップ利用のための許可証の発行手続きを行ってください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 ☒ anzen_workshop@reno.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：コアファシリティ機構 工作支援部門のHPから、開催日程を確認の上でお申し込みください。
週1回程度の割合で開催しています。
コアファシリティ機構のHP(https://www.corefc.osaka-u.ac.jp)》

最大10名程度 1時間 日本語 対面

【限定】 生命機能研究科（FBSの研究室(兼任教員を含む)の構成員であれば、他部局所属者も可）

生命機能研究科コロキウム (FBS Colloquium)

講師：年間予定表(別紙)に準ずる

【吹田】 オンライン 毎週火曜12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究（Life science, Mechanisms of life, Interdisciplinary research）

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室》 ☒ kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp までお申し込みください。
コロキウム日程及び担当研究室一覧はマイハンダイをご参照ください。》

100名 0.75時間 日本語 English 対面 又は オンライン

【限定】 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

微研集談会 (Biken Monthly Seminar)

講師：各回により異なる

【吹田】 12月、1月を除く毎月第4火曜日（16:00-17:00）

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学（Infection, Immunity, Cancer, Genomics）

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☒ suishin@biken.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び、医学系研究科に開催案内を通知します。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》

制限なし 1時間 日本語 English ※実施回による 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

アドバンストセミナー (Advanced Seminar Series)

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 3月を除く毎月1回 (16:00-17:00)

〈キーワード〉感染症、免疫学 (Infection, Immunity)

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回です。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知します。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。オンラインの場合は事前申込制(メールで申込)です。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》



研究・教育のための3D-CAD入門講習会

講師：林 樹一郎 (コアファシリティ機構 技術専門職員)
古谷 浩志 (コアファシリティ機構 教授)

豊中 毎月1回程度開催

〈キーワード〉3D-CADによるデザイン実習、3D設計、3Dプリントデータ作成、入門編

〈概要〉実験機器や実験器具の設計、3Dプリントモデルの作成を行う際に用いる3D-CADの入門講習会です。代表的な3D-CADであるAutodesk社Fusion®を対象として、基本的な操作・デザイン方法を各自で3D-CADを操作して習得していきます。参加者は、Fusion®をインストールしたPCとマウスを持参してください (Fusion®は教育機関ライセンスで無償利用が可能です)。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎月1回程度開催しております。コアファシリティのHPにて開催日程を確認し、HPを通して受講をお申し込みください。コアファシリティ機構のHP (<https://www.corefc.osaka-u.ac.jp>)》



限定 情報科学研究科

IST ネットワーキングイベント (IST Networking Event)

講師：第一線で活躍する研究者

吹田 年5回程度の開催を予定

〈キーワード〉研究力向上、融合研究、共同研究 (Research Enhancement, Interdisciplinary research, Collaborative Research)

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。》



限定 蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 **オンライン** 未定

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》



限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

不正防止について (Prevention of research misconduct and misuse of research funds)

講師：飯田 哲也(微生物病研究所 所長)

オンデマンド ~3月20日

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用 (Research misconduct, Research ethics, Fabrication, Falsification, Plagiarism, Misuse)

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付けます。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 事務部 庶務係》 biken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講希望者は、随時、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署までお申し込みください。》

新任教員向けの「科学技術の ELSI (倫理的・法的・社会的課題)」解説

講師：八木 絵香 (CO デザインセンター 教授)
水町 衣里 (社会技術共創研究センター 准教授)
鹿野 祐介 (CO デザインセンター 特任講師)

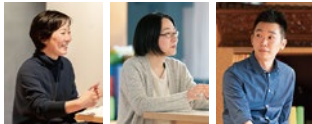
オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉ELSI (倫理的・法的・社会的課題)、科学技術コミュニケーション、リスクアセスメント、科学技術ガバナンス

〈概要〉「ELSI (倫理的・法的・社会的課題)」という言葉聞いたことがありますか。近年、ムーンショット型研究開発事業などの大型研究プロジェクトや先端的な知見の社会実装を伴う研究開発の現場において、ELSIへの対応が必須要件となるケースが急増しています。しかし、これは医歯薬生命・理工情報系だけでなく、人文・社会科学系の研究者にも関係のある問題です。本研修では、なぜあらゆる分野において「ELSI」の視点が重要視されているのかを動画で解説します。動画の視聴完了後には、受講確認フォームにご回答いただきます。

《問合せ先：CO デザインセンター》 stips-info@cscd.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「新任教員向けの『科学技術の ELSI』解説」コミュニティを検索のうえ、ご登録・ご参加ください。視聴完了後に、受講確認フォームにご回答いただきます。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式



研究能力 開発プログラム

オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉国のオープンアクセス基本方針、オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、プレダトリージャーナル、機関リポジトリ、研究マネジメント総合支援システム

〈概要〉国のオープンアクセス基本方針により、2025年度以降新規に科研費等公的助成を受けた研究成果の即時公開が義務化され、研究者にとってオープンアクセスの基礎知識と実践方法を学ぶことが重要になっています。本研修では、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向について解説します。さらに、大阪大学の研究者が利用できるオープンアクセス経費支援や「研究マネジメント総合支援システム(REMS)」を活用したりポジトリ登録支援、および国のオープンアクセス基本方針への対応方法について説明します。

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》[✉ tosyoy-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講方法(コースへの登録方法)は以下の URL から附属図書館 Web サイトに掲載している案内をご参照ください。
(https://www.library.osaka-u.ac.jp/news/20260601a_common)
受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

 制限なし  1時間  日本語  オンデマンド

倫理審査はなぜ必要？ 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識

講師：鈴木 美香(研究オフィス 講師)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉人を対象とする研究、倫理指針、倫理原則、倫理審査委員会

〈概要〉昨今、研究分野を問わず、人を対象とする研究について学会発表・論文投稿時に倫理審査委員会の承認を求められるケースが増えています。そもそも倫理審査はなぜ必要なのでしょう。この研修では、人を対象とする研究をする際に知っておきたい「倫理原則」や関連指針を紹介し、理系・文系問わずよりよい研究の実施に向けたセルフチェックができることを目的とします。

《問合せ先：研究推進部 研究推進課 総務係》[✉ research-admin@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-admin@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：受講方法①CLE 授業支援システムにアクセス (<https://www.cle.osaka-u.ac.jp/>)
②自身の大阪大学個人IDとPWでログイン後、左側のリストパネルにある「コミュニティ」をクリック
③上の「コミュニティを検索」に「倫理」を入力
④「倫理審査はなぜ必要？人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識」をクリック
⑤左側のリストパネルにある「コンテンツ」をクリック
⑥「研修動画」をクリックして視聴
⑦視聴完了後、理解度チェック、受講確認フォームを回答》

 制限なし  0.58時間  日本語  オンデマンド

オープンサイエンス時代における 研究データマネジメント基礎 (Learn the basics of research data management in the era of open science.)

講師：甲斐 尚人(D3センター 准教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー
(Research Data Management, Open Science, Research Data Platform, Research Integrity, Data Management Plan, The University of Osaka Research Data Policy)

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流により、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画(DMP)の作成や研究成果のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修ではオープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行い、研究データライフサイクルの各段階の留意点などについて説明します。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》[✉ research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_253580_1/outline
(事前申込不要)受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》

 制限なし  1.5時間  日本語  オンデマンド
English

限定 人間科学研究科

科研費審査の仕組み： あなたの申請書や審査はどのように評価されている

講師：三浦 麻子(人間科学研究科 教授)

村上 あかね(人間科学研究科 教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉科研費、申請書、審査

〈概要〉科研費の審査は、申請書の内容だけで決まるものではなく、審査委員による評定やコメント、それらを支える審査運営全体によって成り立っています。本講演では、日本学術振興会学術システム研究センターでの実務経験を踏まえ、科研費審査の仕組みと、申請書および審査コメントがどのように見られ、評価されているのかを解説します。その上で、科研費審査を申請者・審査者の双方に関わる制度的プロセスとして捉え、より質の高い申請書作成と責任あるピアレビューへの参加について考える機会としたいと思います。

《問合せ先：人間科学研究科 三浦 麻子》[✉ miura.asako.hus@osaka-u.ac.jp](mailto:miura.asako.hus@osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：配信情報はメールか ICHO 掲示板をご覧ください。》

 制限なし  1時間  日本語  オンデマンド

論文だけではもったいない： 研究成果を価値に変える知財戦略

講師：坂口 智康(共創機構イノベーション 戦略部門知的財産室 室長)

橋本 雅一(共創機構イノベーション 戦略部門知的財産室 副室長)

オンデマンド ～3月31日 (予定)

〈キーワード〉研究、知的財産

〈概要〉大学研究者が自身の研究成果を最大化し、その価値を知的財産の視点から適切に創造・保護・活用するための「知的財産戦略」を理解するとともに、研究の初期段階から論文発表、共同研究、資金獲得等の各局面において適切な意思決定を行うための基盤を身につけることを目的とします。

《問合せ先：医学系研究科 保健学事務室 庶務係》[✉ i-hoken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:i-hoken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。CLE ログイン後、CLE の「保健学専攻 FD セミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。受講後のアンケート回答をもって受講完了とします。》

 制限なし  0.67時間  日本語  オンデマンド

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾
や大阪大学の歴史など
本学への理解を深める
プログラムや、実社会
と連携した教育や研究
の進め方についてのプロ
グラムです。

◎受講にあたり、特別
な配慮が必要な場合、
開催2週間前までに
ご連絡ください。

新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：森井 英一(医学系研究科 教授)

松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

適塾 11月10日10:00-11:00 (現地：大阪市中央区北浜)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

・講義 (森井 英一) 30 分

・適塾見学 (松永 和浩) 30 分

《問合先：共創推進部 社会連携課 総務係》 [✉ kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

大阪大学の歴史 (History of The University of Osaka)

講師：菅 真城(ミュージアム・リンクス 教授)

オンライン 11月17日15:10-16:40

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

(The University of Osaka, Osaka Imperial University, Osaka University of Foreign Studies)

〈概要〉本研修は、自己が所属する大阪大学の歴史について基本的知識を身につけることを目的とします。

前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。

また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合先：総務部 総務課 文書法規係》 [✉ soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板でお知らせしますので、①所属、②職名、③氏名(フリガナ)、④大阪大学個人IDを上記アドレスあてにお知らせください。》

阪大ブランド発信地としての大学博物館

講師：船越 幹央(ミュージアム・リンクス 教授)

上田 裕尋(ミュージアム・リンクス 講師)

豊中 12月8日10:30-12:00

〈キーワード〉大学博物館、アウトリーチ、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、本学の精神的源流である適塾・懐徳堂や帝国大学の創立、戦後の歩みなどを展示するとともに、初代総長・長岡半太郎や湯川秀樹ら草創期の研究者から、戦前・戦後の各分野の研究、さらに坂口志文先生のノーベル賞受賞まで、本学の研究・教育の歩みを展示し、昨年天然記念物に指定されたマチカネワニ化石を展示しています。これらの常設展示および特別展、サイエンスカフェなどにより、研究・教育のアウトリーチを行っています。本プログラムでは、アウトリーチを通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考えます。

《問合先：共創推進部 社会連携課 総務係》 [✉ kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいはメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

 20名  1時間  日本語  対面

 50名  1.5時間  日本語  オンライン English Sub

 15名  1.5時間  日本語  対面

アートを通じた社会との共創 ー中之島芸術センターにおける「共創芸術」の取り組み

講師：菌田 郁(中之島芸術センター 特任助教)

イリーナ・カスティリャンチャンカ(中之島芸術センター 特任助教)

中之島センター 12月8日15:00-16:30 (中之島芸術センター3階)

〈キーワード〉共創芸術、教育、研究

〈概要〉中之島芸術センターが推進する「共創芸術」の考え方や実践事例を通して、アートの視点を教育・研究・社会連携に活用する方法を学ぶことを目的とします。これまで当センターで実施してきた教育・研究・社会共創事業の実例や今後の展望を紹介するとともに、センター内の施設・設備を見学し、その活用方法や連携の可能性について理解を深めます。

《問合先：中之島芸術センター》 [✉ secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

映画『洪庵と 1,000 人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

中之島センター ~3月31日

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と 1,000 人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成します。

・映画の鑑賞 50 分 / ・映画の解説 40 分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めます。

・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めます。

《問合先：共創推進部 社会連携課 総務係》 [✉ kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

 20名  1.5時間  日本語  対面

 制限なし  1.5時間  日本語  オンデマンド

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など
安全衛生に関わる内容
や、各種コンプライア
ンスに関わる内容など、
組織の管理運営能力の
開発を目指すプログラ
ムです。

◎受講にあたり、特別
な配慮が必要な場合、
開催2週間前までに
ご連絡ください。

ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム

講師：たかはし みほ
齊藤 弥生

吹田 10月15日、11月19日、12月10日12:20-13:20

〈キーワード〉ヨガ、ストレス解消、健康づくり、研究力向上

〈概要〉海外の大学では研究力や仕事力のアップをはかるため、体を動かす取り組みを積極的に取り入れています。OU
マスタープラン実現加速化事業（活性化A）「社会学共創によるWellbeingでInclusiveなキャンパスづくりの全学
展開に向けた試行」の一環として、月1回外部から講師を招き、ヨガプログラムを実施し、大阪大学の教職員の
パワーアップに貢献します。

《問合先》人間科学研究科・人科 DE&I プロジェクト (OU マスタープラン実現加速事業)事務局
✉hus-dei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：以下のリンクから各自お申し込みください(先着15名)。
【申込URL】<https://forms.cloud.microsoft/r/jcFhMjufSL>》

ストレスを解消し、腰痛・肩こりを予防し、 仕事力向上をさせるための中医学的体操プログラム

講師：中本 かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長)
齊藤 弥生(人間科学研究科 教授)
根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 10月21日、11月18日、12月9日17:40-18:40

〈キーワード〉健康づくり、ストレス解消、腰痛肩こり予防・対策、研究力・仕事力向上

〈概要〉OU マスタープラン実現加速化事業（活性化A）「社会学共創によるWellbeingでInclusiveなキャンパスづくりの全学
展開に向けた試行」の一環として、工学研究科（レジリエンスサポート＆トレーニングセンター）と人間科学研究
科（DE&I プロジェクト）の共催で、外部講師をお招きし、東洋医学的概念に基づいた心の調和と「退行性変化」
を調整する足助式医療体操（体操）を学びます。内臓の働きを高める、体の痛みをとる、ストレスを解消する、
老化を防ぐ等の効果が期待され、大阪大学の教職員のパワーアップに貢献します。（動きやすい服装、シューズで
ご参加ください。）

《問合先》人間科学研究科・人科 DE&I プロジェクト (OU マスタープラン実現加速事業)事務局
✉hus-dei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：以下のリンクから各自お申し込みください(先着15名)。
【申込URL】<https://forms.cloud.microsoft/r/yCPnxgj6tn>》

アンコンシャス・バイアスに関する研修

講師：古山 陽一(東京情報大学 看護学部 助教)

オンライン 10月26日13:30-15:00 **オンデマンド** 準備ができ次第~3月15日

〈キーワード〉DE&I、ダイバーシティ&インクルージョン、アンコンシャス・バイアス

〈概要〉アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）をはじめ、DE&Iの推進に関わるさまざまな課題について、専門
的な知見や具体的な事例を通じて理解を深めます。自らの認識や行動、教育・研究活動及び組織の制度・慣行を
振り返り、誰もが尊重され、公正に参加できる教育・研究環境の実現に向けて、一人ひとりが取り得る行動について
考える機会とします。

《問合先》企画部 ダイバーシティ推進課 ✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務局へのメール通知等で開催案内を送付します。
案内に書かれた方法により各自お申し込みください。》

 15名
程度

 1時間

 日本語

 対面

 15名
程度

 1時間

 日本語

 対面

 オンライン：
500名
オンデマンド：
制限なし

 1.5時間

 日本語

 オンライン
オンデマンド

傾聴について

講師：広木 芽枝(相談支援部門 講師)

豊中 11月6日13:30-15:00

〈キーワード〉傾聴、学生とのコミュニケーション

〈概要〉学生への研究指導や研究室運営において、教員と学生の間で双方向のコミュニケーションが円滑に行われることが
望ましいと思われます。本研修では、心理相談においてカウンセラーが実践する「傾聴」について学びつつ、コミュ
ニケーションの土台となる信頼関係を培うヒントを得ていただければと思います。

《問合先》健康支援相談センター 庶務係 ✉hacc-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：1ヶ月程度前にICHO 掲示板に掲載されるICHO フォームにて事前申込をお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

 20名

 1.5時間

 日本語

 対面

Well-being 研修

講師：都竹 茂樹(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 教授)

吹田 11月17日（時間未定）

〈キーワード〉健康課題、ウェルビーイング、Well-being、ダイバーシティ&インクルージョン、DE&I

〈概要〉心身の健康やWell-beingに関わるさまざまな課題について、専門的な知見や具体的な事例を通じて理解を深め
ます。個人の健康管理だけでなく、教育・研究活動や職場環境、組織の制度・慣行との関わりにも目を向け、構
成員一人ひとりが心身ともに健やかに学び、働き、その能力を発揮できる修学・就業環境の実現に向けて、自ら
及び組織にできることを考える機会とします。

《問合先》企画部 ダイバーシティ推進課 ✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務局へのメール通知等で開催案内を送付します。
案内に書かれた方法により各自お申し込みください。》

 150名

 1.5時間

 日本語

 対面

限定 人文学研究科(豊中地区)

人文学研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月26日15:10-16:10

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行い、本学におけるハラスメ
ントの状況と防止に向けた取り組みを理解します。

《問合先》人文学研究科 豊中事務局 人事係 ✉jinbun-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：申込不要です。詳細は対象者に別途通知します。》

 制限なし

 1時間

 日本語

 対面

限定 全教職員、学生、一般

人権問題に関する講演会

「水平社の姉妹たちー部落フェミニズムの歴史をたどる」

講師：宮前 千雅子(関西大学 人権問題研究室 委嘱研究員)

オンライン 12月15日13:30-15:00

〈キーワード〉人権問題、部落差別問題

〈概要〉人権問題（部落差別問題）に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、部落差別問題について講師より
お話をさせていただきます。

《問合先》総務部 総務課 文書法規係 ✉soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》：開催月の1ヶ月程前に受講者募集に係る通知を予定しています。》

 制限なし

 1.5時間

 日本語

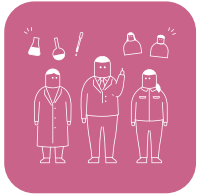
 オンライン

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

限定 文学部

文学部ハラスメント防止研修会

講師：宮村 直子(ウェルネス推進機構 健康支援相談センター 助教)

豊中 1月21日16:15-17:15

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉ウェルネス推進機構健康支援相談センターの宮村直子先生に講師をお願いします。現在の学生の生活環境の心理と
いった点から、コミュニケーションの取り方についてお話いただき、ハラスメントを避けるために注意すべきこと
などについて知識を深めることを目的とします。

《問合先：文学部ハラスメント問題委員会 委員長 中谷 惣》
✉ so.nakaya.hmt@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前に研修対象者に案内します。文学部で学生指導をする教員は原則として全員が出席してください。》

ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)

講師：中本 かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長 医師)

吹田 3月3日13:30-16:00

〈キーワード〉ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア、足助式医療体操

〈概要〉まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、スト
レス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。体験演習の都合上、動きやすい
服装、履物でご参加いただきますようお願い申し上げます。①ヨガマットまたはバスタオル、②手ぬぐいまたは
スポーツタオル等の長さのあるタオル(約100cm)の2点をご用意ください。

《問合先：工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室》
✉ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板でご案内します。》

メンタルヘルス講習会

講師：未定

オンライン オンデマンド 未定

〈キーワード〉メンタルヘルス

〈概要〉メンタルヘルスへの理解を深めることを目的とします。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO、KOAN の各掲示板にて案内予定です。掲示内容に基づき、
各自お申し込みください。》

限定 人文学研究科・外国語学部

キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

箕面 未定(今年度中の教授会開催日に1時間程度を予定)

〈キーワード〉ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメントに関する講演会を行います。ハラスメント防止に係る講演を通じ、ハラスメント防止に係る意識啓発を
行うことを目的とします。

《問合先：人文学研究科 箕面事務部 庶務係》
✉ jinbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：部局名等内構成員宛に開催通知を予定しています。余裕があれば、学生及び学内教職員宛に通知予定です。》

70名 1時間 日本語 対面

30名 2.5時間 日本語 対面

未定 未定 日本語 オンライン
オンデマンド

100名 1時間 日本語 対面

限定 産業科学研究所

バイオセーフティ講習会

講師：西 毅(産業科学研究所 准教授)

岡島 俊英(産業科学研究所 准教授)

和田 洋(産業科学研究所 准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉安全管理、説明、遺伝子組換え実験、動物実験

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。
遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、
周知徹底を図ることを目的としています。

《問合先：産業科学研究所》
✉ tnishi@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講申込は不要です。各自でオンデマンドを利用し受講してください。》

限定 産業科学研究所

若手教員・研究者のキャリア・デザインに関する講演会

講師：中谷 俊之(北海道大学 電子科学研究所 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉キャリア、キャリア・デザイン、ロールモデル、人材育成、メンタリング

〈概要〉今回の講演会は、「若手研究者の未来を拓くキャリア・デザイン」と題し、より広い視野からの若手研究者のキャ
リア支援を目的とするものです。ユニークなキャリアパスを経て国内外ですでに顕著な研究成果を挙げている学外
の先生から、これまでの研究者人生を参考に、研究職を前向きに続けるための心構え・困難の乗り越え方などにつ
いて貴重な示唆を頂きます。若手研究者が、講演者自身の経験やコラムを基にした周りの変化の捉え方、気づきな
どを学びつつ、自身の自己理解の深化、視野拡大、レジリエンス強化に資する内容となっています。

《問合先：産業科学研究所 戦略室》
✉ sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講希望者は戦略室にご連絡ください。産研メンター制度利用が決定した教員
(メンティ、メンター)については受講必須です。》

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習

(コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編)

講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。
また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

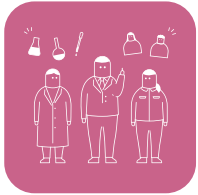
制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

定員

受講時間

使用言語

研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編)

講師：竹内 徹也(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。

また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。

実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。

また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理

要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。

高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得とします。

部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）の使用方法について説明します。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム（OCCSIV）

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としています。

また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬 英毅(安全衛生管理部 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とします。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

限定 主に新規採用された教職員等

令和8年度大阪大学新入教職員安全衛生講習会

講師：未定

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における

安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に

役立てることを目的とします。

《問合先》：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

研究インテグリティを確保するために 研究者に求められること

講師：金 美善(国際連携研究リスク統括室 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉研究インテグリティ、研究セキュリティ、安全保障輸出管理、経済安全保障

〈概要〉研究インテグリティ及び研究セキュリティは、研究の国際化やオープン化に伴う新たなリスクに対して新たに確保が

求められる、研究の健全性・公正性であり、各研究者の自主的な管理と所属機関におけるリスクマネジメントが

求められています。本講義では、研究インテグリティ及び研究セキュリティの概要について説明した上で、研究者

が注意すべき点、ヒヤリハット事例等を紹介します。

《問合先》：研究推進部 研究推進課 安全保障輸出管理・研究インテグリティ担当 ☒ s-export@ml.office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：事前申込は不要です。CLEから各自受講してください。受講完了にはアンケートへの回答が必須です。
(コミュニティカタログからコミュニティを自己登録願います。)

安全保障輸出管理の概要

講師：金 美善(国際連携研究リスク統括室 教授)

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉安全保障輸出管理、技術提供、貨物の輸出、留学生の受入、外為法

〈概要〉安全保障貿易管理とは、我が国の技術や貨物が、軍事転用されることを防ぐために外為法等に基づいて技術の提供

等の管理を行うことを意味します。大学のコンプライアンス（法令遵守）の一部でもあります。研究者の貴重な

研究を守るための手段としても重要な役割を担います。本講義では、安全保障輸出管理の概要と本学における手続き

について理解することを目的とします。

《問合先》：研究推進部 研究推進課 安全保障輸出管理・研究インテグリティ担当 ☒ s-export@ml.office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法》：事前申込は不要です。CLEから各自受講してください。受講完了にはアンケートへの回答が必須です。
(コミュニティカタログからコミュニティを自己登録願います。)

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

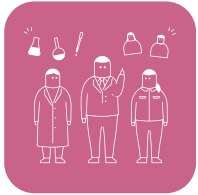
制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

制限なし 0.5時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

定員
受講時間
使用言語
研修形式

最新情報は各開催部局に
お問い合わせいただく
か、学内ポータルサイト
「マイハンダイ」(FD 関
係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

限定 令和8年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び事務職員
課長以上の事務系職員

大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：総長
理事

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、本学の組織・教育体制やミッション等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係》
✉ soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：CLE より各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。
【受講 URL】CLE> コミュニティ検索> 大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)
https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/organizations/_254874_1/outline》

 制限なし
 1時間
 日本語
 オンデマンド

限定 蛋白質研究所

蛋白研防災安全講習会

講師：未定

オンデマンド 11月頃の1か月間（日程未定）

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉消防訓練解説動画の視聴により、通報訓練、消火訓練（消火器）、消火訓練（屋内消火栓）、避難訓練を行います。緊急時の対応方法の習得、防災意識の向上を目的として実施します。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1ヶ月程前に受講対象者に通知を予定しています。》

 制限なし
 1時間
 日本語
 オンデマンド

 定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式